

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 用地課												
	作成責任者	西畑 信寿												
	事業名	未登記用地測量事業												
	会計情報	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費	会計	一般会計	事業コード	120306	決算付属資料	190	頁
	施策体系	施策コード	030302	施策名	市道などの整備を推進する									
	開始年度	平成26年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	—												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	道路改良工事等において、現況市道内に未登記用地の存在が発覚した場合、その権原を取得する。										
	対象者	発覚した土地の所有者	対象者数	9	単位あたりコスト	485.6						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
	委託先・実施主体等	京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会										
	事業概要	現況市道内の未登記用地について、分筆登記及び寄附による所有権移転を行う。また、それらの事務に必要な測量及び登記事務に係る委託業務を行う。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		委託料	京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会への委託							1,260		
需用費		土木積算システム更新							44			
備品購入費		土木積算システム更新							30			
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当予算	①当初	1,424	1,380	1,335	413	1,000				
		②補正予算	0	0							
		③流充用額	0	0	0	0	0				
		④繰越額計	0	0	0	0	0				
	前年度繰越										
		次年度繰越									
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	618	1,080	705	86	0				
		国支出金	0	0							
		府支出金	0	0							
		地方債	0	0							
		その他特財	806	300	630	327	1,000				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	法定外占用料		種類	財産収入	実績金額	1,260	決算付属資料	30	頁
		特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	0.11/0.45	0.08 / 0.3	0.27 / 0.35	0.27 / 0.35						
⑤概算人件費	2,005	1,390	3,035	3,035							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	3,429	2,770	4,370	3,448							
⑦執行額	386	0	1,334								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	27.1%	0.0%	99.9%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		寄付を受けた土地の面積	m2	4767.24	1230.65	88.01	/ 2028.63	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		寄附申出による登記筆数	筆	47	25	9	/ 27	0
		単位あたりコスト		8.2	0.0	148.4		
		単位あたりコスト		/	/	/	/	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・現況市道内に未登記用地が発覚した場合は、その権原の取得を行う必要がある。 ・寄付により権原の取得を行なうため、地権者に十分な説明を行なう必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・市道内未登記用地の寄付を受けるために分筆が必要になる場合があり、分筆登記に係る業務発注を行なうために、事前に十分に調整し効率的に実施している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、各年度の申出筆数に対する登記筆数としている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	道路改良事業等において、未登記用地が発覚する場合と所有者自らが申し出られる場合とがあるが、いずれにしても市道内に存在する民地については、その権原の取得が必要となる。 現状として、申し出のあった寄付行為については分筆等も含め、適正且つ速やかに対応できている。		
今後の課題及び方向性	未登記用地については、その全数は把握しきれない状況であるが、今後地籍調査事業を通じて明らかになるものについて、所有者に説明の上その権原の取得に努めていく必要がある。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	道路改良工事等において、現況市道内に未登記用地の存在が発覚した場合、その権原を取得する事業であり、継続的な事業執行が必要である。来年度は事業執行に必要な予算を確保する。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 道路河川課						
	作成責任者	中村 直樹						
	事業名	道路台帳整備事業						
	会計情報	款 土木費	項 道路橋りょう費	目 道路橋りょう総務費	会計 一般会計	事業コード 120121	決算付属資料 188	頁
	施策体系	施策コード 030302	施策名 市道などの整備を推進する					
	開始年度	昭和63年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等							
	根拠法令等	道路法						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	道路法第28条により、道路台帳の整備が規定されている。道路管理者として、道路台帳を正確に補正し、調書及び図面を整備することにより、最新の情報に更新していく。道路行政の執行及び市民の経済活動その他に効果が期待できる。					
	対象者	市民、道路・橋りょう利用者、業者及び市職員	対象者数	80,000	単位あたりコスト	0.1	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
	委託先・実施主体等	地図作成、測量設計業者等					
	事業概要	道路工事などにより、形状などに変更があった箇所について、道路台帳の補正更新を行なう。 ①台帳補正：補正対象路線 新規認定路線、廃止路線、拡幅・区域変更・改良路線、路面種別変更路線 ②路線網データ作成：世界測地系に変換されたデータを京都府1/2500を背景にし、データ作成 本市では、毎年1回補正をしており、昨年度認定・廃止・区域変更等告示した路線や改良した道路、帰属を受け認定した道路等を現地測量等実施して整備している。					
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費	
	道路台帳更新業務	旧福知山市域・夜久野地域				3,834	
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	5,900	5,500	3,000	6,000	3,300			
	②補正予算	△ 392	△ 424	0					
	③流充用額			834					
	④繰越額計	2,515	0	0	0	0			
前年度繰越			0						
	次年度繰越			0					
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑤内訳)	一般財源	2,123	0	0	0	0			
	国支出金	0	0	0		0			
	府支出金	0	0	0		0			
	地方債	0	0	0		0			
	その他特財	5,900	5,076	3,834	6,000	3,300			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料	種類	使用料及び手数料	実績金額	3,834	決算付属資料	10	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
人件費	0.39/0	0.39 / 0	0.89 / 0	0.89 / 0					
⑤概算人件費	3,120	3,120	7,120	7,120					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	11,143	8,196	10,954	13,120					
⑦執行額	7,993	5,076	3,834						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	99.6%	100.0%	100.0%	0.0%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		台帳更新業務	件	4/4	2/2	1/1	/ 2	2
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		補正路線数	路線	96/96	58/58	20/20	/ 60	60
	単位あたりコスト		83.3	87.5	191.7			
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・道路法に基づく道路行政の執行及び市民の経済活動その他に道路台帳の情報が必要であるため、本事業により新しい情報に更新することは必要不可欠である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・道路台帳は紙媒体が基本であるが、情報処理には電子媒体が効率的であり、双方の整備が必要である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・道路台帳は、インフラに関する基礎的なデータとしてあらゆる行政その他の活動に資するものである。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		道路台帳の整備は、道路法にも規定されており、道路行政の執行及び市民の経済活動その他に道路台帳の情報が必要であるため、本事業により新しい情報に更新することは必要不可欠である。 本市では、毎年1回補正をしており、調書及び図面を整備することにより、最新の情報に更新している。	
今後の課題及び方向性		道路台帳を整備することは、道路法において規定されており、道路行政の執行及び道路管理事務の円滑な遂行等にも道路台帳の情報が必要となる。 毎年、道路工事などで道路の形状変更があり、継続的な修正が必要となるので、できるだけ簡易な方法で修正を行ったうえで、閲覧に供するようにしていく必要がある。 台帳の電子化について、内容等を検討していく。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内 容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	○元年度と比べて、新規認定、路線変更、区域変更の路線数が少ないため前年度と比べ減額となっている。 ○今後についても継続して適性に実施する。
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 道路河川課							
	作成責任者	荒木 正人							
	事業名	道路維持管理事業							
	会計情報	款 土木費	項 道路橋りょう費	目 道路維持費	会計 一般会計	事業コード 120122	決算付属資料 188・190	頁	
	施策体系	施策コード 030302	施策名 市道などの整備を推進する						
	開始年度	昭和63年度							
	終了予定年度	令和2年度							
	関連計画等								
	根拠法令等								
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	道路維持にかかる管理経費。道路パトロール及び地元からの通報などにより、道路施設の損傷を迅速に調査し必要に応じて緊急修繕を実施する。また、市街地や福知山駅周辺の街路樹剪定と落葉除去等を計画的に実施するとともに、市内の幹線道路の除草、側溝の堆積土砂の除去、照明灯の維持管理などを行わない道路の保全を図る。					
	対象者	全市民 市道・高齢化が進行した自治会の幹線道路等	対象者数	78,166	単位あたりコスト	1.7	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
	委託先・実施主体等	土木工事施工業者等					
	事業概要	市道路線数 3,746箇所 市道総延長 1,408.23km 道路維持にかかる管理経費。道路パトロール及び地元からの通報などにより、道路施設の損傷を迅速に調査し必要に応じて緊急修繕を実施する。また、市街地や福知山駅周辺の街路樹剪定と落葉除去等を計画的に実施するとともに、市内の幹線道路の除草、側溝の堆積土砂の除去、照明灯の維持管理などを行わない道路の保全を図る。					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費	
		委託料	土砂撤去業務委託料(7月豪雨)、除草剪定業務委託料など			61,794	
需用費		消耗品費、印刷製本費、備品等修繕料など			24,754		
役務費		道路賠償責任保険料、郵送料など			16,319		
工事請負費		道路照明、防犯灯設置・修繕及び道路修繕など			3,454		
その他	報償費2,369、公課費78、負担金補助及び交付金26			2,473			
関連事業	H29年度から、地域道路維持強化事業、災害時緊急対応事業を統合。						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	95,965	100,549	93,375	59,289	24,901			
	②補正予算			0					
	③流充用額	11,113	32,945	15,549					
	④繰越額計	0	0	0	0	0			
前年度繰越			0						
			0						
予算と執行の状況 (財源内訳①④⑤内訳)	一般財源	0	32,848	0	0	0			
	国支出金	0	0	0		0			
	府支出金	0	0	0		0			
	地方債	0	0	0		0			
	その他特財	107,078	100,646	108,794	59,289	24,901			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料	種類	使用料及び手数料	実績金額	108,640	決算付属資料	10	頁
	特財名称	放置自転車保管料	種類	諸収入	実績金額	8	決算付属資料	44	頁
人件費	3.73/0	3.73 / 0	2.85 / 2	2.85 / 2					
⑤概算人件費	29,840	29,840	27,800	27,800					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	136,918	163,334	136,724	87,089					
⑦執行額	107,078	132,892	108,795						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	99.5%	99.9%	0.0%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		委託件数(土砂撤去等)	箇所	91/100	130/100	45/100	/	100
	修繕件数	箇所	178/150	221/150	114/150	/	150	150
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	委託件数(土砂撤去等)	箇所	91/100	130/100	45/100	/	100	100
	単位あたりコスト		1,176.7	1,022.2	2,417.7			
	修繕件数	箇所	178/150	221/150	114/150	/	150	150
	単位あたりコスト		601.6	601.3	954.3			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市道を適正に維持管理することにより、市民の安心・安全な道路交通を確保し、市民生活の向上を図ることができる。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・市道を適正に維持管理するうえで、必要不可欠であり、安心・安全な道路交通を確保するため道路施設に損傷等があれば迅速に修繕を実施して対応している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・市道を適正に維持管理することにより、市民の安心・安全な道路交通を確保でき、市民生活の向上の観点から事業実施による有効性は増加している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		市道管理者として、市道を適正に維持管理を行ない、車両通行の安全確保を行なうとともに、沿線住民及び市民生活の安心・安全を図ることを目的としている。 道路パトロール、各自治会、市民からの要望、通報などにより、道路施設の損傷を迅速に調査し、修繕等緊急対応により、市道等の適正な維持管理に努めている。	
今後の課題及び方向性		市道の維持管理は、市民生活に密接に関係しており、生活利便性の向上、車両・歩行者等の交通安全の確保、治水機能の維持として重要な業務である。 街路樹剪定、落葉清掃、除草、側溝清掃、街路灯修繕等を計画的に実施することにより、道路環境の保全を図っているが、街路樹、除草等、年々樹木も大きくなり経費がかかることから維持管理できる範囲が減ってきている。限られた財源を効率的、効果的に実施していけるよう配分を行なうとともに、緊急度・優先度を考慮しながら危険箇所を優先的に実施していく。 維持管理事業であり、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分	内容
<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>○限りある予算の中で実施しており、全ての要望等に応えられない状況である。</p> <p>○修繕や改修等については、予算の範囲内で緊急性、安全性を考慮し優先順位を付けながら実施してきたが、明確な判断基準等については、委員の意見を参考に、今後、整理していきたい。</p> <p>○除草等についても、安全性や効率性を考えながら契約方法を検討しているが、管理面積が広い為、なかなかコスト削減につながらない部分がある。委員の意見を受ける中で、今後の課題として認識したい。</p> <p>○予算の関係から、除草や修繕等の維持管理については、真に緊急性のあるものを精査し実施する。</p>
予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 道路河川課							
	作成責任者	中村 直樹							
	事業名	除雪関連事業							
	会計情報	款 土木費	項 道路橋りょう費	目 道路維持費	会計 一般会計	事業コード 120123	決算付属資料 190	頁	
	施策体系	施策コード 030302	施策名 市道などの整備を推進する						
	開始年度	昭和63年度							
	終了予定年度	令和2年度							
	関連計画等	福知山市地域防災計画、福知山市除雪計画							
	根拠法令等								
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )							

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	除雪計画に沿って、迅速に除雪作業を行なうことにより、生活道路を確保し、市民の安心・安全な生活に寄与することができる。							
	対象者	市民、除雪対象市道、市民以外の通行者	対象者数	80,000	単位あたりコスト	1.3			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
	委託先・実施主体等	除雪受託業者							
	事業概要	福知山市除雪計画に沿って、主要生活道路(市道)の除雪を行なうことにより冬期の生活道路を確保する。 市内の除雪路線343路線、協議路線72路線、計415路線を市内38業者に委託して除雪を実施する。また凍結防止剤の散布については、27路線を2業者に委託している。							
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費	
		除雪作業委託業務	除雪作業、凍結防止剤散布にかかる委託作業					44,927	
除雪車両リース業務		除雪車両の受託業者へのリース					37,495		
需用費		凍結防止剤などの購入					5,218		
役務費		運搬料、法定点検手数料、自動車損害賠償保険料など					1,234		
その他	負担金補助及び交付金1,225、公課費120					1,345			
関連事業	H30年度より「除雪機械購入助成事業」を統合								

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
	配当予算	①当初	59,270	63,031	59,213	61,887	122,157	
		②補正予算	103,000	55,591	49,000			
		③流充用額			△ 9,527			
		④繰越額計	0	0	0	0	0	
	前年度繰越				0			
		次年度繰越			0			
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	149,483	100,312	0	0	0	
		国支出金	0	0	0		0	
		府支出金	0	0	0		0	
		地方債	0	0	0		60,000	
		その他特財	12,787	18,310	90,219	61,887	62,157	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料	種類	使用料及び手数料	実績金額	90,220	決算付属資料 10 頁
		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料 頁
	人件費	0.87/0	0.87 / 0	0.45 / 0	0.45 / 0			
⑤概算人件費	6,960	6,960	3,600	3,600				
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	169,230	125,582	102,286	65,487				
⑦執行額	153,408	118,172	90,220					
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	94.5%	99.6%	91.4%	0.0%				

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		除雪・協議路線	km	258.9/258.9	258.4/258.4	260.3/260.3	/ 260.3	260.3
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		業者出動日数	日	35/35	36/36	18/18	/ 30	30
		単位あたりコスト		4,383.1	3,282.6	5,012.2		
出動業者数	者	375/375	186/186	106/106	/ 222	222		
単位あたりコスト		409.1	635.3	851.1				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・住民ニーズに応えるとともに道路の通行確保及び凍結防止対策を図る。 ・冬期の道路網の確保という観点で、市道の管理者として取組む必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・除雪計画に沿って積雪状況等により必要性・緊急度等を考慮し実施している。 ・固定経費については、長期継続契約の期間延長などを検討していく。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・住民ニーズに応えるとともに、冬期における市民生活の確保と安全性の向上の観点から有効性は高い。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	積雪により、市民生活に影響がでることから、福知山市除雪計画に沿って主要な生活道路の除雪を行なうことにより、冬期における道路交通の確保を行い、市民生活の維持を図る。 除雪計画に沿って、迅速に除雪作業、凍結防止剤散布作業を行なうことにより、市道の安心・安全な交通を確保している。		
今後の課題及び方向性	積雪の多い地域を有する本市において、冬期における基幹市道の通行及び円滑な交通の確保に除雪業務は必要不可欠であり、現状維持とする。年々、除雪業者における除雪車両の維持やオペレーターの確保等が難しい状況や事故が発生してきており、地元企業の少ない地域においては除雪業者の確保に苦慮する状況が生じている。今後、除雪作業を担っている業者の負担が少なくなるように、舗装路面の平滑化(突起物をなくすこと。)や除雪業者と実施路線の点検・見直し等を行っていく。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分	内容
<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>○H30年度より「除雪機械購入助成事業」を統合 ○国の除雪単価が増額改定となったため、委託料が増加している。 ○市道の安心安全な通行のために、適正に実施したい。</p> <p>【H29棚卸しに係る見直し状況】 ○除雪路線の見直し等については、令和元年度に業者への聞き取りを行なったが、見直しの要望はなかったため、これまでどおりの実施とする。今後も、業者への確認を行い、見直し要望があれば検討していきたい。</p>
予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】



# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 道路河川課							
	作成責任者	中村 直樹							
	事業名	道路橋りょう一般管理事業							
	会計情報	款 土木費	項 道路橋りょう費	目 道路維持費	会計 一般会計	事業コード 120203	決算付属資料 190	頁	
	施策体系	施策コード 030302	施策名 市道などの整備を推進する						
	開始年度	昭和63年度							
	終了予定年度	令和2年度							
	関連計画等								
	根拠法令等								
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	道路・橋りょうの利用者の安全な通行を確保するための維持管理経費。 道路・橋りょうには、夜間の利用者の安全な通行を確保するために、街路灯が設置してあるが、市管理道路や橋りょうを適正に管理することで、安全・安心のまちづくりの推進を図ることができる。また、研修会に参加するなどにより、職員の技術力アップにつなげることができる。				
	対象者	市民、道路・橋りょう利用者及び市職員	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.2
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	道路・橋りょうの利用者の安全な通行を確保するための維持管理経費。経常経費的な事業であり、予算の殆どを街路灯の電気代(需用費)が占めている。ほかには道路橋りょうにかかる協議、会議、研修会などの旅費や年会費など。				
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費		
	需用費(街路灯電気代)	市道設置の街路灯にかかる電気代	14,884			
	旅費	補助申請、各種会議にかかる旅費	434			
	研修、受講料		60			
	備品購入費	土木積算システム更新に伴う業務用端末等	380			
	臨職賃金		334			
関連事業						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
	配当予算	①当初	15,108	14,708	14,108	14,578	14,709			
		②補正予算	0	△ 263	0					
		③流充用額			1,984					
		④繰越額計	0	0	0	0	0			
	前年度繰越				0					
		次年度繰越			0					
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	0	0	0	0	0			
		国支出金	0	0	0		0			
		府支出金	0	0	0		0			
		地方債	0	0	0		0			
		その他特財	15,108	14,445	16,092	14,578	14,709			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料	種類	使用料及び手数料	実績金額	16,092	決算付属資料	10	頁
		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	0.04/0	0.04 / 0	0.03 / 0	0.03 / 0					
⑤概算人件費	320	320	240	240						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	15,428	14,765	16,332	14,818						
⑦執行額	13,556	14,445	16,092							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	89.7%	100.0%	100.0%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		執行額	千円	13,556/15,108	14,445/14,708	16,092/14,108	/ 14,641	14,641
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		執行額	千円	13,556/15,108	14,445/14,708	16,092/14,108	/ 14,641	14,641
		単位あたりコスト		1.0	1.0	1.0		
			/	/	/	/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・道路、橋りょうの利用者の安全な通行を確保するために、街路灯の維持管理は必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・街路灯にかかる電気代は年々、微増傾向にあり、光熱水費の削減を図るため、更新時に電気代及び耐用年数の高い、LEDへの更新を検討していく必要がある。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・道路管理者として、設置しているものであり、通行者の安全を確保している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価			<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路・橋りょうの利用者のために、多くの街路灯を設置している。</li> <li>・しかし、市域には、かなり多くの街路灯があり維持管理にかかる費用は増えつつある。</li> <li>・光熱水費のコスト削減を図るために、LEDへの更新は検討しているが、なかなか増えていない状況である。</li> </ul>
今後の課題及び方向性			道路、橋りょうの利用者の安全な通行を確保するために、街路灯の適正な維持管理は必要不可欠であるが、街路灯にかかる経費は微増傾向にあることから、今後、LED灯への計画的な更新など検討していく必要がある。維持管理事業のため、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	○光熱水費等については確保しつつ、継続して適正に実施する。
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 道路河川課						
	作成責任者	荒木 正人						
	事業名	長田野工業団地維持管理事業						
	会計情報	款 土木費	項 道路橋りょう費	目 道路維持費	会計 一般会計	事業コード 120207	決算付属資料 190	頁
	施策体系	施策コード 030302	施策名 市道などの整備を推進する					
	開始年度	昭和63年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等							
	根拠法令等							
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	長田野工業団地内においても、適切に維持管理することにより、安全性・利便性の向上を図ることができる。					
	対象者	市民・長田野工業団地企業、長田野工業団地内市道の利用者	対象者数	6,395	単位あたりコスト	2.4	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
	委託先・実施主体等	土木工事施工業者等					
	事業概要	長田野工業団地内の維持管理をするために、老朽化などにより破損した道路構造物の補修、修繕を行なうとともに、道路上に繁茂した街路樹の剪定及び除草を行なう。 電気料については、街路灯にかかる協定書に基づき、団地内の街路灯の維持管理にかかる電気料金の50%以内について、長田野工業センターに費用負担を求めている。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費	
		電気代	団地内における街路灯電気代			5,652	
道路橋りょう修繕料		街路灯修繕、側溝修繕など			904		
除草・剪定業務ほか		団地内の道路上に繁茂した街路樹の剪定及び除草業務委託			5,790		
道路清掃手数料ほか		団地内の道路の雑草やごみなどの収集・維持管理業務委託			448		
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	22,200	21,200	16,300	13,800	8,300			
	②補正予算			0					
	③流充用額	△ 5,715	△ 5,956	△ 3,506					
	④繰越額計	0	0	0	0	0			
前年度繰越									
次年度繰越									
予算と執行の状況	一般財源	1	132	0	0	0			
	国支出金	0	0	0		0			
	府支出金	0	0	0		0			
	地方債	0	0	0		0			
	その他特財	16,484	15,112	12,794	13,800	8,300			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料	種類	使用料及び手数料	実績金額	9,969	決算付属資料	10	頁
	特財名称	長田野工業団地街路灯維持管理負担金	種類	諸収入	実績金額	2,825	決算付属資料	44	頁
人件費	0.19/0	0.19 / 0	0.28 / 0	0.28 / 0					
⑤概算人件費	1,520	1,520	2,240	2,240					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	18,005	16,764	15,034	16,040					
⑦執行額	16,484	15,112	12,794						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	99.1%	100.0%	0.0%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	工事・修繕	業務(剪定・除草)	箇所	5/5	13/13	3/3	/ 7	7	
				/	6/6	4/4	/ 5	5	
				単位あたりコスト	3,296.8	1,162.5	4,264.7		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	工事・修繕	業務(剪定・除草)	箇所	5/5	13/13	3/3	/ 7	7
					/	6/6	4/4	/ 5	5
					単位あたりコスト		2,518.7	3,198.5	

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・団地内において、道路や付属施設の老朽化が著しくなっており、修繕要望も多い。 ・事業を継続して実施していく必要性は大きい。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・適正な維持管理をするうえで必要な維持管理経費であり、迅速に対応している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・老朽化により、破損した道路構造物の補修、修繕を行なうとともに、街路樹の剪定及び除草を行なうことで、工業団地のイメージアップ、生産活動の有効性につながる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		道路パトロール、長田野工業センターなどからの連絡、通報などにより、道路施設の損傷、不具合について迅速に調査し修繕を実施している。街路樹の剪定、除草などについても適正に維持管理することで道路環境の保全を図ることができている。	
今後の課題及び方向性		団地内において、老朽化が著しい道路構造物が増えつつあるなかで、要望も多く迅速に対応できていない。課題としては、団地内街路樹の巨木化と老朽化が進行しており、道路や付属施設の老朽化も年々著しくなっていることから、維持管理に要する費用は増加傾向になると予想され、限られた財源のなか、より効率的な執行を行なっていく必要がある。維持管理事業のため、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内 容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 継続して適正に実施する。 <input type="checkbox"/> 光熱水費等については確保しつつ、修繕料等については、精査を行います。
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 道路河川課												
	作成責任者	中村 直樹												
	事業名	辺地対策事業												
	会計情報	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費	会計	一般会計	事業コード	120307	決算付属資料	190	頁
	施策体系	施策コード	030302	施策名	市道などの整備を推進する									
	開始年度	平成23年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	辺地計画												
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	交通条件及び自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれず、ほかの地域に比較して住民の生活文化水準が著しく低い山間地、離島その他のへんぴな地域である辺地地域において、市道の舗装改良を実施し、安心・安全な道路交通を確保することにより、市民生活の向上を図ることができる。									
	対象者	地元住民、道路利用者・辺地指定地域内の市道・過疎指定地域内の市道	対象者数	1,062	単位あたりコスト	6.0					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
	委託先・実施主体等	土木工事施工業者等									
	事業概要	辺地地域における交通基盤を確保するため、辺地計画に基づいて市道の新設改良を行ない、良好な生活道路を確保することで辺地地域の活性化を図る。 <30年度事業概要> 中佐々木キタ線(30年度 継続) L=700mのうち175m As舗装									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
		道路改良工事	中佐々木キタ線道路改良工事							4,690	
関連事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
配当予算	①当初	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000				
	②補正予算			0						
	③流充用額	0	0	0						
	④繰越額計	0	0	0	0	0				
前年度繰越										
次年度繰越										
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑤内訳)	一般財源	0	0	0	0	0				
	国支出金	0	0	0		0				
	府支出金	0	0	0		0				
	地方債	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000				
	その他特財	0	0	0		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	辺地対策債		種類	市債	実績金額	4,600	決算付属資料	48	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
人件費	0.19/0	0.1 / 0	0.17 / 0	0.17 / 0						
⑤概算人件費	1,520	800	1,360	1,360						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	6,520	5,800	6,360	6,360						
⑦執行額	3,758	4,668	4,690							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	75.2%	93.4%	93.8%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		工事実施路線	路線	1/1	1/1	1/1	/	1
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	工事実施路線	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		路線	路線	1/1	1/1	1/1	/	1
	単位あたりコスト			3,758.0	4,668.0	4,690.0		
	単位あたりコスト			/	/	/	/	
単位あたりコスト			0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・辺地地域における生活道路の老朽化及び不便さを解消し、良好な交通基盤を確保するため、辺地計画に基づいて市道改良を行なう。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・有利な財源である辺地対策債を活用し、辺地計画に基づいて事業実施している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・辺地地域の住民ニーズに応えるとともに、市道改良により市民生活の向上と安全性が図られる。辺地地域の活性化に寄与することで有効性は増加している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		本市における辺地地域においても、辺地対策事業の対象自治会からの要望に対して、辺地計画に基づき辺地対策債という有利な財源を活用し、計画的に市道の道路舗装改良を実施しており、快適な生活環境の確保や辺地地域の活力の創造に資する。	
今後の課題及び方向性		辺地地域については、有利な財源である辺地対策債を活用して効果的に事業実施していく必要がある。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 道路河川課						
	作成責任者	中村 直樹						
	事業名	防衛施設周辺整備事業						
	会計情報	款 土木費	項 道路橋りょう費	目 道路新設改良費	会計 一般会計	事業コード 120312	決算付属資料 190・192	頁
	施策体系	施策コード 030302	施策名 市道などの整備を推進する					
	開始年度	昭和55年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等							
	根拠法令等							
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	当該市道は、幅員が狭小で車両の離合が困難なことや車両通行による歩行者の危険性が高いこと等、住民生活に支障をきたしている。室自治会は、高齢化が進行し、公共交通機関として唯一バスが当該路線を運行している集落である。早期に拡幅整備をし、射撃場周辺の民生安定を図るものである。					
	対象者	地元住民・市民・市道	対象者数	31,285	単位あたりコスト	0.6	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
	委託先・実施主体等	土木工事施工業者、測量設計業者					
	事業概要	市道室3号線外2線がある室自治会の近隣には、福知山射撃場があり陸上自衛隊の実射演習が行われており、火災等の緊急時には当該市道の南に位置する室口池からの給水による消火活動を行うことになる。当該市道は、幅員が狭小で車両の離合が困難なことや車両通行による歩行者の危険性が高いこと等、住民生活に支障をきたしている。室自治会は、高齢化が進行し、公共交通機関として唯一バスが当該路線を運行している集落である。早期に拡幅整備をし、射撃場周辺の民生安定を図るものである。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費			
	測量・設計業務	室3号線ほか2線測量設計業務	15,888				
	旅費	出張協議旅費	72				
	複写機使用料	複写機使用料	50				
	需用費	消耗品費	49				
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
配当予算	①当初	90,923	0	16,341	26,410	28,286				
	②補正予算			0						
	③流充用額	0	0	0						
	④繰越額計	0	0	0	0	0				
	前年度繰越			0						
	次年度繰越			0						
予算と執行の状況	一般財源	28,746	0	4,903	2,023	1,949				
	国支出金	62,177	0	11,438	18,487	20,737				
	府支出金	0	0	0		0				
	地方債	0	0	0	5,900	5,600				
	その他特財	0	0	0		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	防衛施設周辺整備事業		種類	国支出金	実績金額	11,434	決算付属資料	18	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
人件費	0.49/0	0 / 0	0.3 / 0	0.3 / 0						
⑤概算人件費	3,920	0	2,400	2,400						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	94,843	0	18,741	28,810						
⑦執行額	73,408	0	16,059							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	80.7%		98.3%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		実施路線	線	1/1	/	0/3	/ 3	3
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	実施路線	線	1/1	/	0/3	/ 3	3	
	単位あたりコスト		73,408.0	0.0	0.0			
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・当路線は、周辺住民にとって主要な生活道路であるが、部分的に現道の幅員は狭小であり、緊急車両との離合は危険な状態であるため、道路整備が必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・補助率(70%)が良い防衛補助金を活用して、生活道路の改修を実施している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・事業実施することにより、バス及び緊急車両と一般車両の安全な離合が可能となり、利便性と安全性が向上し、駐屯地周辺の民生安定が図れる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		本事業は、防衛施設周辺整備事業として、補助率がよい防衛省の補助金を活用して事業を実施している。	
今後の課題及び方向性		防衛施設周辺整備事業については、旭が丘小谷ヶ丘線をもって一旦終了することとなるため、今後は、防衛施設との因果関係を明確にし、新たな事業箇所の検討、選定を実施する。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 補助金の確保を図りつつ、継続して適正に実施する。 【H29棚卸による見直し状況】 継続路線を実施中であり、新規路線採択には至っていない。採択に向け、引き続き検討を要する。
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】



# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 道路河川課						
	作成責任者	荒木 正人						
	事業名	道路改良事業						
	会計情報	款 土木費	項 道路橋りょう費	目 道路新設改良費	会計 一般会計	事業コード 120313	決算付属資料 192	頁
	施策体系	施策コード 030302	施策名 市道などの整備を推進する					
	開始年度	昭和63年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等							
	根拠法令等							
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	各自治会からの市道の道路改良等の要望に対して、新設改良を行なうことにより、地元の要望に応えるだけでなく、車両の通行確保や市民生活の利便性向上が図られ、沿道住民及び市民生活の安心、安全性の向上を図ることができる。					
	対象者	地元住民・市民・市道	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.5	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
	委託先・実施主体等	測量設計業者、土地家屋調査士協会等					
	事業概要	一定区間(原則的に接続する路線から路線を結ぶ区間)の現道拡幅改良工事や新規路線の工事を行なうもので、幅員4m以上の道路排水処理のできる構造及び舗装整備まで行なう事業である。 地元からの市道改良要望路線等については、必要度・緊急度・経済効果などを考慮して、拡幅改良及びバイパス新設などを行なっていく。ただし、交通量の多い幹線道路や公共施設関連道路などについては、市で調査、検討を行なったうえで補助事業などにより事業実施している。					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費	
		道路舗装改良工事	川北荒木線、荒木正明寺線			15,700	
道路新設改良工事		法林寺長田野工業団地線、八幡神社線			4,857		
道路部分改良工事		鴨野団地本線、長田21号線			3,575		
公共囑託登記		(用地課)			251		
用地買収	(用地課)			146			
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	48,600	38,600	19,392	10,000	40,000			
	②補正予算			0					
	③流充用額	△ 1,536	2,805	13,056					
	④繰越額計	0	0	0	0	0			
前年度繰越									
次年度繰越									
予算と執行の状況 (財源内訳(①)④内訳)	一般財源	47,064	39,141	9,456	10,000	17,360			
	国支出金	0	0	0					
	府支出金	0	0	3,600					
	地方債	0	0	0		22,500			
	その他特財	0	2,264	19,392		140			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路橋りょう費分担金	種類	分担金	実績金額	164	決算付属資料	6	頁
	特財名称	公共施設等適正管理推進債	種類	市債	実績金額	14,100	決算付属資料	48	頁
人件費	0.28/0	1.21 / 0	0.63 / 0	0.63 / 0					
⑤概算人件費	2,240	9,680	5,040	5,040					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	49,304	51,085	37,488	15,040					
⑦執行額	46,224	41,405	24,528						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	98.2%	100.0%	75.6%	0.0%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		工事実施路線	路線	16 / 16	15 / 15	6 / 6	/ 12	12
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		工事実施路線	路線	16 / 16	15 / 15	6 / 6	/ 12	12
		単位あたりコスト		2889.0	2760.3	4088.0		
		/	/	/	/			
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・住民ニーズに応えるとともに、道路の拡幅改良等により、緊急自動車の通行確保と沿道住民及び市民生活及び安全性の向上が図られる。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・市道の安心・安全な道路交通の確保のため、また、地元要望等による改良路線について必要性、緊急性、経済効果などを考慮し適正な事業実施を行っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・住民ニーズに応えるとともに、改良により市民生活及び安全性の向上の観点から、有効性は増加している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		各自治会からの市道の道路改良等の要望に対して、道路新設改良を行なうことにより、地元の要望に応えるだけでなく、車両通行の確保や市民生活の利便性の向上を図ることができる。 沿道住民及び市民生活の安心、安全性の向上も図ることができる。	
今後の課題及び方向性		道路改良に対する地元からの要望は多いため、必要性、緊急性、経済効果などを考慮しながら精査し、事業箇所を決定し実施している。しかしながら、財政状況は厳しいことから、施工路線についてはさらに精査し、優先度をつけて計画的に実施していく必要がある。 また、社会資本整備総合交付金など、交付金が活用できるものは活用を考える必要がある。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 道路河川課												
	作成責任者	中村 直樹												
	事業名	過疎対策事業												
	会計情報	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費	会計	一般会計	事業コード	120315	決算付属資料	192	頁
	施策体系	施策コード	030302	施策名	市道などの整備を推進する									
	開始年度	平成22年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	過疎計画												
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	過疎地域における交通基盤を確保するため、過疎計画に基づき、市道の改良を行ない、良好な生活道路を確保することで過疎地域の活性化を図る。 安心安全な道路交通を確保することにより、過疎地域における市民生活の向上を図ることができる。									
	対象者	地元住民、道路利用者・過疎指定地域内の市道	対象者数	10,971	単位あたりコスト	1.4					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
	委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事施工業者									
	事業概要	過疎地域における交通基盤を確保するため、過疎計画に基づき、市道の改良を行ない、良好な生活道路を確保することで過疎地域の活性化を図る。 <30年度事業概要> 本谷線 公共囑託登記、生野線 新設改良工事									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
	生野線	道路改良工事(精算払)(29線30)							6,020		
	生野線	道路改良工事(前金払)							6,000		
	本谷線	公共囑託登記							986		
	関連事業										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当予算	①当初	32,800	28,800	19,800	19,000	32,000				
		②補正予算	0	908	0						
		③流充用額			0						
		④繰越額計	29,942	△ 6,417	△ 6,397	12,814	0				
		前年度繰越			6,417	12,814					
		次年度繰越		△ 6,417	△ 12,814						
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	42	91	3	14	0				
		国支出金	0	0	0		0				
		府支出金	0	0	0		0				
		地方債	62,700	23,200	13,400	31,800	32,000				
		その他特財	0	0	0		0				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	過疎対策		種類	市債	実績金額	6,000	決算付属資料	48	頁
		特財名称	過疎対策(29線30)		種類	市債	実績金額	6,000	決算付属資料	48	頁
	人件費	0.79/0	0.79 / 0	0.27 / 0	0.27 / 0						
⑤概算人件費	6,320	6,320	2,160	2,160							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	69,062	29,611	15,563	33,974							
⑦執行額	58,561	23,290	13,006								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	93.3%	100.0%	97.0%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		実施路線	線	5/5	3/4	2/2	/ 2	13
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		実施路線	線	5/5	3/4	2/2	/ 2	13
		単位あたりコスト		11712.2	7763.3	6503.0		
			/	/	/	/		
			単位あたりコスト					

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・過疎地域における生活道路の老朽化及び不便さを解消し、良好な交通基盤を確保するため、過疎計画に基づいて市道改良を行なう。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・有利な財源である過疎対策債を活用し、過疎計画に基づいて事業実施している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・過疎地域の住民ニーズに応えるとともに、市道改良により市民生活の向上と安全性が図られる。辺地地域の活性化に寄与することで有効性は増加している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		本市における過疎地域において、対象自治会からの要望に対して、過疎計画に基づき過疎対策債という有利な財源を活用し、計画的に市道の道路舗装改良等を実施しており、快適な生活環境の確保や過疎地域の活力の創造に資する。	
今後の課題及び方向性		過疎地域については、有利な財源である過疎対策債を活用して効果的に事業実施していく必要がある。また、現計画が平成28年度から始まっており、前期の過疎計画から継続となっている路線については、重点的に整備する必要がある。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 道路河川課						
	作成責任者	中村 直樹						
	事業名	橋りょう長寿命化対策事業						
	会計情報	款 土木費	項 道路橋りょう費	目 橋りょう維持費	会計 一般会計	事業コード 120324	決算付属資料 192	頁
	施策体系	施策コード 030302	施策名 市道などの整備を推進する					
	開始年度	平成26年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等							
	根拠法令等							
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	長期的な補修計画の策定を行ない、今後、老朽化する道路橋の増大に対して、予防的な修繕及び計画的な架け替えに方針転換することにより、施設の維持管理費の縮減を図ることができる。道路橋の安全性、信頼性を確保することができる。					
	対象者	市民、利用者、市道の橋りょう	対象者数	78,166	単位あたりコスト	1.3	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
	委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事施工業者等					
	事業概要	橋りょうの長寿命化を図るため、橋りょうの現況調査や修繕計画の策定を行なう。 14.5m以上の橋りょうにおいて、平成24年度策定の橋りょう長寿命化計画を策定した。その後、平成25年の道路法の改正により平成26年7月より、5年に1度の近接目視点検を行なうこととなり点検結果により長寿命化計画を策定して予防保全型の維持管理を実施する。結果により健全度を4段階で評価している。 29年度より、橋りょう維持管理事業を事業統合している。 【特定財源名称(H30実績)】府補助金(市町村体制づくり交付金) 7,924千円					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費			
	橋りょう点検業務委託	橋りょう点検(29線30)	37,365				
	橋りょう点検業務委託	橋りょう点検	35,493				
	道路・橋りょう修繕料		712				
	伐採ほか		604				
関連事業	H29年度から、橋りょう維持管理事業を統合。						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	95,000	43,000	106,600	13,000	8,500
		②補正予算			0		
		③流充用額	18,348	92,760	△ 9,813		
		④繰越額計	△ 22,485	△ 16,540	4,242	34,783	0
	前年度繰越			22,485	39,025	34,783	
		次年度繰越		△ 39,025	△ 34,783		
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	15,770	31,653	44,382	15,653	1,500
		国支出金	49,702	63,064	40,045	26,280	3,850
		府支出金	25,391	6,503	7,924		0
		地方債	0	0	0		0
		その他特財	0	18,000	8,678	5,850	3,150
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称 社会資本整備総合交付金	種類 国支出金	実績金額 19,494	決算付属資料 18	頁	
		特財名称 社会資本整備総合交付金(29線30)	種類 国支出金	実績金額 20,551	決算付属資料 18	頁	
	人件費	0.51/0	0.51 / 0	0.43 / 0	0.43 / 0		
⑤概算人件費	4,080	4,080	3,440	3,440			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	94,943	123,300	104,469	51,223			
⑦執行額	90,863	119,220	74,174				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	73.4%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		橋りょう点検実施数	橋	527/1,101	337/1,101	113/1,081	/ 1081	1,081
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		橋りょう点検実施数	橋	527/1101	337/1101	113/1081	/ 1081	1,081
		単位あたりコスト		172.4	353.8	656.4		
			/	/	/	/		
			単位あたりコスト					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・長期的かつ計画的な補修計画の策定に基づき、橋りょう施設を長く良好な状態で維持していくことは、市民、利用者の安心安全な通行に必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・策定計画に基づいて計画的に補修を行なっていくことで、予防的な修繕及び計画的な架け替えに方針転換でき維持管理費の縮減につなげることができる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・事業実施していくことで、橋りょうの維持と通行の安全が確保できる。 ・また、施設の維持管理費用の縮減を図ることができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	・橋りょうの長寿命化を図るため、橋りょうの現況調査や修繕計画の策定を行なう。 ・長期的な補修計画の策定を行ない、今後、老朽化する道路橋の増大に対して、予防的な修繕及び計画的な架け替えに方針転換することにより、施設の維持管理費の縮減を図ることができる。	
	今後の課題及び方向性	・5年に1度の点検が必要であり、限られた期間で、点検を完了していかなければならないため、計画的に進めていくことはもちろん、執行にかかる予算、財源についても確保していく必要がある。 ・点検費用が莫大であるため、職員による点検を実施するための技能取得や、国に対し点検期間・内容も含めたルール改善を要望している。業績指標については、計画策定後に設定する予定である。		

		所見
庁内及び外部による評価（棚卸し評価）	二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
	三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 補助金の確保を図りつつ、継続して適性を実施する。 <input type="checkbox"/> H30年度までの点検結果に基づく修繕を計画的に実施していく。 <input type="checkbox"/> R元年度から新たに5箇年計画での点検が開始されたため、職員の直営による点検等によりコスト削減を図っていく。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 道路河川課												
	作成責任者	荒木 正人												
	事業名	地域間交流促進ネットワーク事業(市道整備)												
	会計情報	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費	会計	一般会計	事業コード	120353	決算付属資料	192	頁
	施策体系	施策コード	030302	施策名	市道などの整備を推進する									
	開始年度	平成28年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	地域再生計画												
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市内の道路網を整備し、交通の利便性、地域間交流の促進、交流ネットワークの強化を通じて、災害時における避難経路の確保、安全・安心な道路環境、観光入込客数の増加を図ることを目的としている。 地方創生道整備推進交付金を活用して、市内の道路網を整備し、交通の利便性、地域間交流の促進、交流ネットワークの強化を通じて、災害時における避難経路の確保、安全・安心な道路環境、観光入込客数の増加を図る。									
	対象者	市民・地元住民・市道	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.3					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
	委託先・実施主体等	土木工事施工業者等									
	事業概要	市内の道路網を整備し、交通の利便性、地域間交流の促進、交流ネットワークの強化を通じて、災害時における避難経路の確保、安全・安心な道路環境、観光入込客数の増加を図ることを目的としており、策定した地域再生計画に基づいて市道の道路改良・舗装改良等を実施していく。									
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費			
	上荒河観音寺線	道路舗装改良工事						12,300			
	笹場小野線	測量業務						8,348			
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
	配当予算	①当初	0	114,402	20,000	10,000	50,000			
		②補正予算	37,613	△ 91,000	115,347					
		③流充用額			0					
		④繰越額計	0	0	△ 114,699	114,699	0			
	前年度繰越			0	114,699					
		次年度繰越			△ 114,699					
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	1,014	962	12,574	1,315	1,300			
		国支出金	18,799	11,440	4,174	63,284	25,000			
		府支出金	0	0	0		0			
		地方債	17,800	11,000	3,900	60,100	23,700			
		その他特財	0	0	0		0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生道整備推進交付金	種類	国支出金	実績金額	4,174	決算付属資料	18	頁
		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	0.21/0	0.21 / 0	0.32 / 0	0.32 / 0					
⑤概算人件費	1,680	1,680	2,560	2,560						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	39,293	25,082	23,208	127,259						
⑦執行額	37,613	23,184	20,648							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	99.1%	100.0%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		工事完成路線	路線	0 / 8	0 / 8	0 / 8	/ 8	8
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		事業実施路線	路線	2 / 2	1 / 1	2 / 2	/	8
		単位あたりコスト		18,806.5	23,184.0	10,324.0		
			/	/	/			

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・地方再生、定住化を進めていくためには、道路などの社会インフラが整っていることが基本であり、道路整備は必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・これまで国補助の採択とならず、市単独費で対応せざるを得なかった市道の舗装改良について本交付金を活用して取り組む。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・平成28年度から令和2年度までの5箇年で策定した地域再生計画に、市道及び林道の道路改良・舗装改良等を位置付け整備を行なうことは有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	地方版総合戦略(まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略)に基づいて、北近畿の拠点としてのネットワークづくりを強化して地域を再生していくために、地域再生計画『北近畿の拠点“福知山”のネットワークを強化する道づくり計画』を策定した。この地域再生計画に、市道及び林道の道路改良・舗装改良等を位置付け、平成28年度から令和2年度までの5箇年をかけて事業に取り組むことで、地方創生の推進に寄与できる。		
今後の課題及び方向性	地域再生計画は、5箇年で計画しており、令和2年度にかけて計画通りに事業実施を行なっていく。地域再生計画では、少子高齢化・人口減少などの社会経済情勢の変化に対応した地域の再生を図ることを目的としているが、計画に掲載している市道を整備することで、観光客の流入を図り、地域経済の活性化を図るなど地方創生への効果を見えるようにしていく必要がある。			

	所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>○市全体の道路改良・新設については一定優先度見極めた上で取組んでいるが、今後において、全体の優先順位を明確にしていく必要があると考える。</p> <p>○市として整備すべき路線を定め、有利な補助金事業に乗せて計画していることより、路線の進捗が図れるよう他の制度の活用も視野に入れ検討したい。</p> <p>○事業規模に応じた市全体の整備計画が策定できるような仕組み作りを検討できれば良いが、維持管理主体の事業化がせいぜいの状況であり、全域を明確に仕分けすることは理想であるが、この事業レベルでは、策定することが課題となるため、今後市全体の道路整備の検討を進めたい。</p> <p>○補助金の確保を図りながら、年次計画に基づき工事を適正に実施していく。</p> <p>【H30棚卸しによる見直し状況】</p> <p>継続事業について補助事業などを活用しながら引き続き実施し、今後の計画について優先順位を考えながら延長を含め検討していく。</p>
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充



# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 都市・交通課												
	作成責任者	清水 俊行												
	事業名	街路事業(多保市正明寺線 高畑工区)												
	会計情報	款	土木費	項	都市計画費	目	街路事業費	会計	一般会計	事業コード	120328	決算付属資料	198	頁
	施策体系	施策コード	030302	施策名	市道などの整備を推進する									
	開始年度	平成19年度												
	終了予定年度	令和元年度												
	関連計画等	未来創造福知山、福知山都市計画マスタープラン												
	根拠法令等	都市計画法												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	東部地区と中心市街地を結ぶアクセスを強化し、また長田野工業団地と国道175号との流れをスムーズにするため、幅員を広げ歩道を設けた橋梁を新規に架け替えることにより都市計画道路網を整備していく。										
	対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	1.7						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
	委託先・実施主体等	大栄工業株式会社 等										
	事業概要	平成29年度に供用開始を行い、最終年度となる平成30年度予算で旧橋等の撤去を実施する。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		旅費	交付金申請 等							21		
需用費		平成30年7月豪雨による被災法面修繕							473			
工事請負費		旧橋等撤去工事							127,170			
関連事業	都市計画事業用地管理事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	556,492	186,929	134,029	0						
		②補正予算	△ 109	0	△ 8,000							
		③流充用額			26							
		④繰越額計	△ 49,287	△ 13,686	2,812	60,161	0					
	前年度繰越			49,287	62,973	60,161						
		次年度繰越		△ 62,973	△ 60,161	0						
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	23,938	6,842	9,215	2,343	0					
		国支出金	126,458	47,901	39,552	13,418						
		府支出金	0	0	0	0						
		地方債	356,700	118,500	80,100	44,400						
	その他特財	0	0	0	0							
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	社会資本整備総合交付金		種類	国庫補助金		実績金額	38,551	決算付属資料	18	頁
		特財名称	合併特例債		種類	市債		実績金額	80,100	決算付属資料	48	頁
	人件費	0.72/0.00	0.81 / 0	0.32 / 0	0.32 / 0							
⑤概算人件費	5,760	6,480	2,560	2,560								
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	512,856	179,723	131,427	62,721								
⑦執行額	501,997	186,929	127,665	0								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	99.0%	100.0%	99.1%	0.0%								

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		都市計画道路進捗率	%	69.49/69.49	69.49/69.49	69.49/69.49	/	69.49	/69.49
				0	/	/	/	/	/
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		事業費ベースによる進捗率	%	83.37/88	94.27/93	98.16/98	/	100	/100
		単位あたりコスト		6021.3	1837.7	1300.6	/		
	単位あたりコスト				/				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	通学路及び自動車交通の安全性の観点から急務となっている事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	徹底した施工管理等により適切なコストで実現できている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	従来発生していた課題の大部分を解消することができる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		国土交通省及び京都府との河川協議により、河川内工事期間が制限されたことにより、一部平成30年度予算を平成31年度に繰越を行うが、適切な施工管理により概ね予定通りに進めることができ、平成30年度予算にて事業完了の予定である。	
今後の課題及び方向性		平成30年度予算にて事業完了予定である。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成31年度(30繰31)に事業が完了し、廃止となる。
	予算額への反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 都市・交通課												
	作成責任者	清水 俊行												
	事業名	街路事業(篠尾線 篠尾工区)												
	会計情報	款	土木費	項	都市計画費	目	街路事業費	会計	一般会計	事業コード	120332	決算付属資料	198	頁
	施策体系	施策コード	030302	施策名	市道などの整備を推進する									
	開始年度	平成30年度												
	終了予定年度	令和4年度												
	関連計画等	未来創造福知山、福知山都市計画マスタープラン												
	根拠法令等	都市計画法												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	該当地区を整備することにより、通学路の安全確保、道路網の構築、国道9号4車線化工事との相乗効果を図る。									
	対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.1					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
	委託先・実施主体等	株式会社ウエスコ京滋支店									
	事業概要	市道福知山停車場奥榎原線から国道9号間の210m区間について、国道9号4車線化工事にあわせた事業化を行い、道路実施設計業務を行う。									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
	旅費	京都府公安委員会協議 等							57		
	備品購入費	デジタルカメラ購入							29		
	関連事業										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初			9,829	42,758	58,000
		②補正予算			0		
		③流充額			13		
		④繰越額計			△ 9,756	9,756	0
		前年度繰越	0	0	9,756		
		次年度繰越	0	△ 9,756	0		
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源			86	5,289	7,905
		国支出金			0	25,667	28,663
		府支出金			0	0	
		地方債			0	21,300	21,100
		その他特財			0	258	332
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	/	0.62 / 0	0.62 / 0		
⑤概算人件費			4,960	4,960			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)			5,046	57,474			
⑦執行額			86	0			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)			100.0%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		都市計画道路進捗率	%			69.49/69.49	/	69.49	/69.84
						/	/		/
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		事業費ベースによる進捗率	%			1/100	/	100	/100
		単位あたりコスト				86.0			
	単位あたりコスト					/			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	通学路及び自動車交通の安全性の観点から急務となっている事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	国道9号4車線化工事にあわせて事業化を行うことで、適切なコストで大きな効果を得ることができる。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	従来発生していた課題の大部分を解消することができる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		京都府公安委員会との協議等により道路詳細設計業務に時間を要しているが、公安委員会等の意見を踏まえた道路設計を実施している。	
今後の課題及び方向性		道路詳細設計が完了次第用地買収を行い、工事の着工及び期限内の事業完了を目指す。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	○特になし
所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	今年度は用地測量業務費、用地買収費を計上している。
	予算への反映 【財政担当課記入】 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】